



平成20年2月7日

各 位

会社名 ト ッ キ 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 津上 晃寿
 (JASDAQ・コード9813)
 問合せ先 取締役執行役員
 経営管理統括部長 山口 登志雄
 電 話 03-3551-3151

特別利益及び特別損失の発生並びに平成20年6月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別利益及び特別損失が発生いたしますのでお知らせするとともに、平成20年6月期（平成19年7月1日～平成20年6月30日）の中間期業績予想について、平成19年11月13日付当社「平成19年6月期 第1四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の発生

当社は、台湾企業向け出荷停止措置に伴う材料の一部について、中国向け装置として引当処理を行っておりましたが、当社から受注獲得交渉を中止したことにより、受注損失引当金を取り崩し、特別利益として受注損失引当金戻入益3億16百万円を計上すると同時に、今後の使用が見込まれなくなった材料を、特別損失としてたな卸資産評価損99百万円を計上することとなりました。

2. 平成20年6月期中間期（連結・単独）業績予想の修正等

(1) 中間期連結業績予想数値の修正（平成19年7月1日～平成19年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	2,905	△542	△580	△793
今回修正 (B)	2,970	△489	△540	△470
増減額 (B-A)	65	53	40	323
増減率 (%)	2.2	-	-	-

(2) 中間期単独業績予想数値の修正（平成19年7月1日～平成19年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,055	△519	△558	△770
今回修正 (B)	1,018	△476	△529	△462
増減額 (B-A)	△37	43	29	308
増減率 (%)	△3.5	-	-	-

(3) 修正の理由

「1. 特別利益及び特別損失の発生」によるものであります。売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね計画通りとなりました。

3. 今後の見通し

通期業績の見通しに関しましては、現時点では業績予想の修正はございません。

以上